

【高・1年・保健・現代社会と健康（生活習慣病とその予防）】①

育成を目指す資質・能力

岐阜県立加納高等学校／奥村 亮祐

健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える能力を養う。

ICT活用のポイント

ICTを効果的に活用することで、知識の定着や対話的で深い学びの実現を図った。

事例の概要

【導入】

生活習慣病について、発見した課題と解決の方法を、筋道を立てて他者に伝えられるよう、PowerPointを活用しプレゼンテーション用資料を作成した。その際に教師が作成したプレゼンテーションを例示することで、生徒が実施するプレゼンテーションのイメージを明確にするとともに、プレゼンテーションの練習を行うことで、筋道を立てて他者に伝える方法を理解させた。【プロジェクター、PowerPoint活用】

【展開】

グループにおいてPowerPointを用いて作成した資料（pdf）を基にプレゼンテーションを実施した。また、グループで作成した資料をMetaMoJi Classroomの「見る」機能でファイル共有し、発表者は「指す」機能を使用した。【MetaMoJi Classroom、PowerPoint（タイマー表示）、プロジェクター、ICT端末活用】

【まとめ①②】

manabaを活用して、グループで発見した課題と解決方法を振り返ることで思考力・判断力の向上を図った。また、プレゼンテーションについて振り返ることで、筋道を立てて他者に伝えるための表現力の向上を図った。【manaba、ICT端末活用】

導入：PowerPointによる
プレゼンテーションの例示
プレゼンテーションの練習

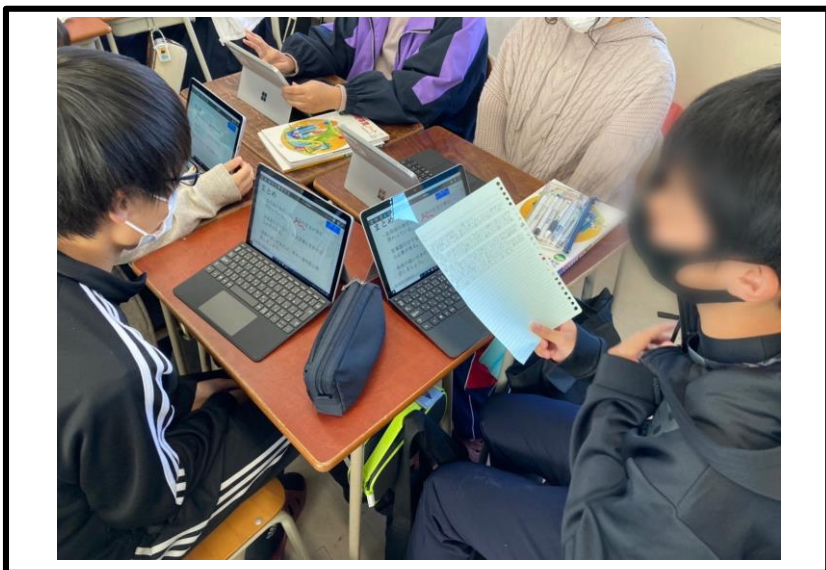
展開：資料を基に他のグループ
へプレゼンテーション

まとめ①：グループごとに振り返り

まとめ②：manabaに自己評価と
振り返りを記入

【高・1年・保健・現代社会と健康（生活習慣病とその予防）】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



＜工夫した点＞

- プロジェクターでタイマーを投影することで、時間に対する意識づけを図った。
- ICT端末内（MetaMoJi Classroom内）に各グループでPowerPointを活用して作成した資料（pdf）を準備し、それを基にプレゼンテーションを行った。その際、MetaMoJi Classroomの「見る」機能で共有し、発表者は「指す」機能を活用した。
- プレゼンテーションはクラス全体に向けて行うのではなく、ローテーションしながら1人2回プレゼンテーションを行うことで、筋道を立てて他者に伝えるための表現力の向上を図った。
- 生活習慣病について一斉学習後に、グループでテーマ設定させ、課題や解決策について探求したことで対話的で深い学びの実現を図った。
- 発表が苦手な生徒に対する配慮として、2人（ペア）でプレゼンテーションを行わせた。
- manabaのアンケート機能を活用して自己評価を行うことで、データをクラウドで管理できた。

＜ICT活用の留意事項等＞

- ICT端末の操作に戸惑う生徒への個別対応やファイルの立ち上げに時間を要することがある。
- 授業準備に時間を要する。

【PowerPoint、MetaMoJi Classroom、manaba】